



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

奉仕と友情



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-2017 RI会長メッセージ

第1215回例会 2016年7月6日 No.1185号

会長時間



会長 賀谷 俊幸

こんにちは。

今日このように新会長として演壇に立つと今までと違って、まるで相撲の初日、野球の開幕戦を迎えたようであらためて新鮮で、さすががしく感じております。

まずは本日、山本 治郎様、石井 清司様、我が広島陵北ロータリー例会に参加いただきまして、誠にありがとうございました。ごゆっくりお楽しみください。

昨年暮れから体のことで色々心配したのですがすっかり回復し、元気いっぱいですので、ますます気力をあげがんばって会長として皆さんにご迷惑をおかけしないようにこの一年を乗り切りたいと考えていますのでよろしくお祈りします。

これから1年間、有意義な会長時間であるために話の一部に今まで私が共感してきた有名会社経営者の名言をご紹介します。まず一回目はウインドウズを開発し世界的規模で拡大させたビル・ゲイツさん(マイクロソフト創始者)の言葉です。

「よく見ると一夜にして起こった成功の多くには長い時間がついやされているものだ」

これは何事も成功するためには多くの努力と時間が必要で一朝一夕にはいかないと言っています。この事は開発現場いると良く解ります。参考にしてください。

またこの後、卓話時間の中で新年度迎えるにあたっての会長挨拶を行いますのでよろしくお祈りいたします。終わります。

今回の例会(7月13日)				次回の例会(7月20日)			
決算報告・事業計画予算説明				理事・役員就任挨拶			
出席報告 (例会運営委員会)				来客者紹介 (親睦家族委員会)			
7月6日(水)出席者				7月6日(水)出席者			
会員総数	52名	ご来賓	0名	広島RC	1名		
出席会員	39名	ご来客	2名	広島北RC	1名		
欠席会員	13名	ゲスト	1名				

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】賀谷 俊幸 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F
【幹事】山田 和弘 【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/>

【TEL】082-221-4894
【FAX】082-221-4870

2016-2017年度 会長方針

奉仕と友情

賀谷 俊幸 会長

2016～2017年度広島陵北ロータリークラブテーマ

「奉仕と友情」

ロータリークラブの基本は奉仕活動にあります。この社会が少しでもよくなるために何をしたらよいかの気持ちでロータリークラブに参加し奉仕活動を通して社会に貢献する事は自分自身が満足していく生き甲斐のある人生を送ることであります。ただこの奉仕活動するには会員みんなの力の結集が必要であり、同じ目的を共有するためにはまずは相互を理解しあうことが必要です。職業観・倫理観・年齢の違う会員同士がどうあるべきかを相互に語り合い親睦を深め「友情」の深まりを感じられるような人間関係を構築することで団結した活動が出来るのです。このような奉仕活動に対応できる「友情」が自然に成り立つ人間関係を作ることを目的としたいと考えています。本年度はこの「奉仕と友情」をテーマにして活動を行いたいので会員の皆さんの絶大なる御協力をお願いいたします。またこの奉仕活動内容は各委員会からの提案および理事会決定を重視し広く多くの会員の意見を聞きたいと考えます。



【奉仕活動】

- 1) 広島市教育委員会陸上教室への援助事業(継続)
- 2) 古川さくら植樹事業(継続)
- 3) 可部地区ホテル繁殖事業(継続)
- 4) 広島市身障者競技大会助成事業(ロータリー財団助成利用、新規継続)
- 5) 米山奨学生助成事業(バングラデシュ、2年、新規継続)
- 6) 奉仕プロジェクトに「がん予防推進委員会」を追加する(3年継続事業、新規継続)
田原ガバナーの強い要請に基づき各ロータリーで上記委員会を立ちあげて「がん予防」の啓蒙活動を行う。詳細は後日、説明資料は準備済。
- 7) シンガポール奨学生支援(継続)

【友情を深めるためのクラブ運営】

- 1) 会員自身の卓話を多くする
- 2) 各種同好会の充実(ゴルフ、野球、釣り、再結成による漫悠会)
- 3) 情報の共有による組織的な会員増強
- 4) 家族夜間例会の充実(花見、花火、野球、クリスマス)

【例会の方針】

例会における配席は会員同士の親睦を図るためSAA委員会による指定配席とします。
例会において「四つのテスト」及び「ロータリアンの行動規範」を斉唱する(RI要請)。
例会での幹事報告に理事会議事録を加える。

【卓話の方針】

月間強化テーマに沿い会員卓話及び会員指名卓話者による卓話を充実する。

2016-2017年度 会長方針

ここで私を知っていただくために私の経歴について少しお話しをしておこうと思います。

私は昭和22年呉で生まれ68歳になります。少年のころより電気が好きで専門雑誌を見てはラジオを作ったり、アマチア無線をしたりでした。結局大学も東京電機大学を卒業し、東京(八王子)の中央電子(株)に専門技術を生かして就職しサラリーマン生活を30歳までしていましたが、昭和53年第二次オイルショックの時に中央電子(株)より営業的支援を受け独立し、中央電子計測(株)を設立いたしました。

当時はマイクロコンピュータが出始めたころで、電子回路ハード技術、ソフト技術、があれば計測制御用コンピュータシステムが小資本で製作出来、新技術ベンチャー企業として大きく成長することが出来ました。特に色々なシステムの中でも車両メーカー向け、車検場向けに画像処理技術によるライトテスターを開発し、日系全車両メーカーに90%納入実績を上げています。そのために全世界の車両メーカー(アメリカ50回、EC30回、中国20回、東南アジア20回その他多数国)を訪問し多くの海外経験をすることが出来ました。

また私の持論ですが、「企業は公の物であるべきで私の個人商店にすべきでない」の考えで身内を社内に入れず優秀な人を重要としてきました。その結果4年前にM&Aを大塚製薬グループとの間で行い、西風新都に新工場を建設しスムーズに会社承継を行いました。まだ若干の株を持っているのですが、昨年の株主配当が70%、今年が50%と業績が上がっており、このM&Aは成功したと考えています。

今までの目いっぱい的人生をこれからはスローライフに切り替えて人生を楽しみたいと考えています。

これからもよろしくお願ひします